

農業ふれあい公園だより

No.24

2017
(平成 29 年)
MARCH

【岩手県立農業ふれあい公園 農業科学博物館】

岩手県北上市飯豊 3-110

TEL 0197-68-3975



ヤエベニシダレ

農業ふれあい公園は、ミニ棚田や桜の丘、せせらぎ広場、水車、ひょうたん池、緑の芝生などとても眺めが良く楽しむことができる公園です。公園の広さは17畝(東京ドームの約3.6倍)で、園内には四季折々の草花が楽しめるように、多種多様な植物が植えられており、春はコブシ、オオヤマザクラ、ハクモクレンなどが咲き、続いて夏にはナツツバキ、アベリア、秋にはジュウガツザクラやマユミ等次々と楽しむことができます。樹木に囲まれた散策路は公園コース約1.7km、農業研究センター外周コース4.6kmあり、ランニングやウォーキングに最適です。



5月 クルメツツジ



6月 ヤマボウシ



10月 ニシキギ

公園内に農業科学博物館があります。館内は2つの展示室から成っています。「農業れきし館」では、かつての農家の暮らしと作物毎の農作業用具を展示しています。他に県内各地の農業と食文化、農業の歴史や地域農業の発展に尽くした人々を紹介しています。「農業かがく館」では、拡大された田んぼの中の世界や、巨大冷蔵庫に入れられた県産野菜や果物で原産地を学ぶコーナー、牛の4つの胃袋の中で畜産に対する理解を深めるコーナーなどがあり、毎年多くの小学生や園児が学習や遠足に訪れています。



グランドゴルフ



ひょうたん池



農業れきし館



農業かがく館



企画展

平成28年度企画展レポート

第68回 生活・生業と木の製品 ～木の容器～

平成28年4月10日(日)～6月24日(金)

日本文化は木の文化といわれるように、私たち日本人は、智恵を働かせて、樹木を衣食住や生業分野で活用するとともに、生活を豊かにするための用具を木材で作り、使いこなしてきました。

その長い歴史と伝統技術は、現存する世界最古の木造建築物として知られる、奈良の寺院や、全国各地に伝承されている木工品や民芸品等に見ることができます。

一方で、昔の生活や生業の場で使われていた木製品は、時代とともに、金属や合成樹脂製品などに置き換えられ、貴重な存在となってきました。企画展では、当館に収蔵されている昭和中頃まで使われていた木の容器を紹介しながら、先人の知恵と技を学ぶ場としました。



第69回 いわたの野良着

平成28年7月3日(日)～9月25日(日)

～先人の合理的な仕事着に学ぶ～

岩手県内には、昭和30年代まで麻を栽培し、糸を紡ぎ織り染め、縫製まで手作りしていた地域があります。雫石町御明神地方や、旧玉山村で用いられた野良着は、その土地の風土と作業形態に合わせて考えられたもので、合理的で、しかも美的。その紺^{かまろ}紺や被りものの色合いが自然の緑と調和して、素晴らしい色彩をなしていました。これは、親から子へ、またその子へと引き継がれてきた風習で貴重な文化財です。合理的で経済的な裁断法と仕立て、機能的で装飾的な野良着は、省資源の重要性がさげられる今日、参考になるものがあります。

企画展では、先人の知恵から仕事着に必要な考え方、物を大切にする心を学ぶ機会としました。



第70回 木の加工と漆塗り

平成28年10月9日(日)～12月23日(金)

岩手県では、縄文時代の遺跡から、木をえぐったり、削ったりして作られた木材加工品と、それに漆塗りをしている加工品が出土しており、この時代から木材に漆を塗ったものづくりが始まっています。

岩手の漆器には、浄法寺塗、秀衡塗、正法寺碗などがあり、浄法寺塗りは旧浄法寺町に開かれた天台寺で自家用の什器として制作され、民間に伝えられて、浄法寺御器、御山御器と称されています。浄法寺塗産地には、木地屋(師)の定着が基礎になっており、製品の原形を作って供給する集団と、漆原料を集める集団、それを精製して木地に塗り製品に仕上げる集団など、連携された工程で製品化されています。

企画展では、浄法寺塗をささえた、旧安代町の木地屋集落での木地づくりの工程を紹介しながら、先人の技を学ぶ機会としました。



第71回 生業とくらしを支えた農家住宅

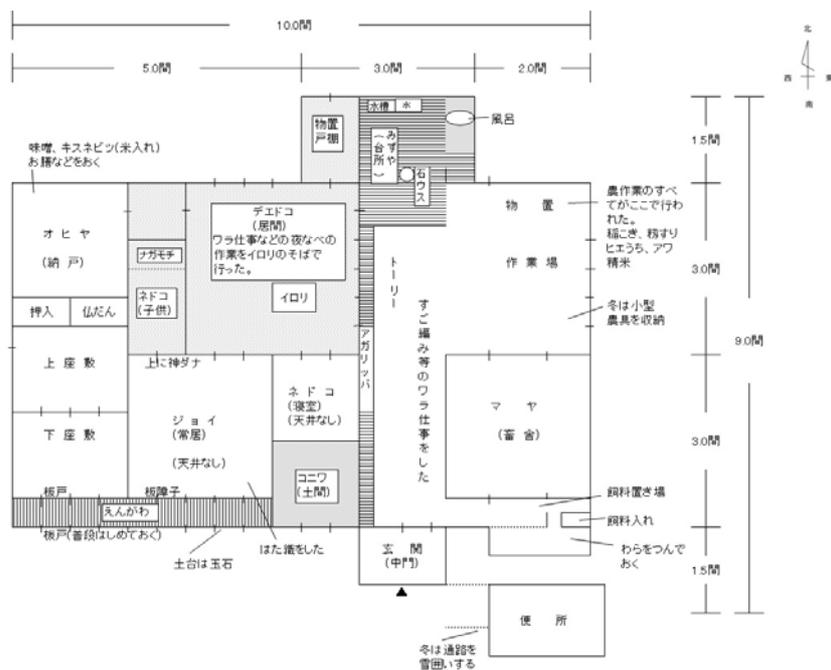
平成29年1月12日(木)～3月29日(水)

～水田・畑作・養蚕農家と豪雪地帯の住宅事例から～

農村の人々が先代から受け継いだ、農家住宅の典型は、屋内に土間があり、田の字型に間取りしたものでした。土間には、煮炊きするかまどや馬屋がありました。

このような農家住宅は、土間で縄をなったり、縁側で機織りをしたり、屋根裏で蚕を飼うなど、住居と生業の結びつきがとても強い住宅となっていました。

企画展では、昭和までの特徴的な農家住宅の事例を紹介しました。生業と密着した住宅が存在して、そこで生き抜いた人々が、いかにして土地に合ったより良い暮らしを生み出そうとしたかを探る機会としました。



豪雪地帯の住宅事例(旧沢内村)

…農業科学博物館・ふれあい公園トピックス…

親子体験学習会「そばをやって食べてみよう」 平成 28 年 7 月 31 日～11 月 6 日 4 回講座



自分で育て打った
そばは美味!

農の生け花展 平成 28 年 9 月 3 日



大地の恵みに感謝の
気持ちを生けました

一日子ども研究員 平成 28 年 7 月 29 日



れきし館で昔の農具を
見学しました

レトロ発動機実演 平成 28 年 9 月 3 日

「ドッドッド」
独特の音! 懐かし
の発動機を披露



親子で縄ないに苦戦!
素敵な松飾りで、新年
を迎えました~



「松飾りをつくろう」冬休み親子体験学習会
平成 28 年 12 月 18 日

お知らせ

◆◆◆ 博物館ご利用案内 ◆◆◆

【開館時間】 9:00 ~ 16:30 (入館は 16 時まで)

【休館日】 毎週月曜日 (ただし祝日の場合は翌日)
年末年始 (12 月 29 日~1 月 3 日)

【入館料】 高校生まで無料

個人 学生 140 円 / 一般 300 円

団体 (20 名以上) 学生 70 円 / 一般 140 円

身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、または療育手帳の
交付を受けている方及び手帳の交付を受けている方の介護
を行う方については、入館料が免除となります。

約 30 坪程の
スペースがあります



農業科学博物館では、多目的ホールを無料で
貸し出しています

作品展示や活動発表会にお使い下さい。希望
される方は、農業科学博物館へご相談下さい